

令和元年度 第2回尾張東部教科用図書採択地区協議会 議事録

- 日 時 令和元年7月9日(火) 9:30
- 場 所 瀬戸蔵 多目的ホール
- 出席者 協議会委員 35名 研究部長 25名 (欠席0名)

1 開 会

- 開会宣言

2 会長あいさつ

- 尾張東部教科用図書採択地区協議会会長よりあいさつ

- ・ 本日の会議は、教科書採択の公正確保のため、非公開で行うことを確認する。
- ・ ここに至るまでの経過を報告。

令和元年5月17日(金)と5月28日(火)に本協議会の研究員打合会を開催し、その後、教科用

図書について研究。

- ・ 本日、その研究成果を報告するとともに、委員の協議により、本地区の子どもたちにとって一番

さわしい教科用図書を選定していきたい。

3 協議方法について

- 選定の方法

- ・ 協議会の会議において、委員全員の一致によって決まる。

- 資料の確認

- ・ 愛知県令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準
- ・ 尾張東部教科用図書採択地区協議会選定資料

- 協議進行の手順

- ・ 研究部長より、選定資料をもとに各教科用図書の説明
- ・ 研究部長に質疑
- ・ 研究部長退席後に、協議・選定
- ・ 中学校の選定の後、小学校の選定
- ・ 中学校は全ての教科について一括で質疑、小学校は教科ごとに質疑

4 教科部長報告及び質疑、協議

- 中学校各教科の報告

- ・ 見本本の送付のあった各出版社の教科用図書について研究し、報告(学習指導要領との関連、

あ

いちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等)。

○ 中学校各教科の質疑

- ・ 中学校の編成する教育課程に最も適する教科書をとあるが、教育課程から合わないような内容もあったか。
- 現在のものと合わないものはない。
- ・ 教科書の内容については、平成27年度採択の教科書から大きな変更はないと思われるが、今回の採択に当たって特に留意すべき点はあるか。
- 特になし
- ・ 「愛知の教育の基本理念」との関連において、何か課題となるようなことがあったか。
- 特に課題となるようなことはない。

○ 中学校各教科の協議

- ・ 平成27年度採択時にしっかり調査研究され、採択協議会での議論を経て現行の教科書が採択されている。そして、今回の採択でも同じ教科書を調査研究している。各研究部長からは、それぞれの教科書の調査が報告されたが、これまでの4年間の使用実績を踏まえると、現在採択している教科書が適切であると考えます。
- ・ 各研究部長からの報告を総合的に判断すると、来年度1年間のために採択替えを行う必要性はない。どの教科においても継続使用が適していると考えるので、道徳を除く中学校各教科については、いずれも継続使用が望ましい。
- ・ 協議の結果、全員一致で現在使用している教科用図書を選定する教科書として決定。

○ 小学校国語の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書の4社について研究し、報告(学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等)。

○ 小学校国語の質疑

- ・ 内容の構成で、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項は適切であったか。
- どの教科書会社も言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項とも系統・配列・分量は適切だった。光村図書は、情報の扱いに関する事項に特化した情報単元をどの学年にも複数配置し、重要なポイントがわかりやすくまとめられていた。
- ・ 重要語句・新出漢字の提示・挿絵・漢字・図表について、工夫されている点はあるか。
- 新出漢字や難語句が脚注にわかりやすく示され、児童の学習の助けとなっている。挿絵や写真は文章の理解を助けるよう効果的に配置されている。光村図書では、QRコードをつけて画像や解説、文章の朗読が表示され、利用できるようになっている。
- ・ 近年、児童が背負うランドセルの重さが問題になっているが、教科書の重量に関して特筆すべき差

が見られるか。

- 教科書会社や学年によってまちまちであり、教科書会社によって約30～80グラムの差が見られる。内容が充実していてなおかつ比較的軽量に作られているのは光村図書である。5・6年生に関しては、東京書籍と光村図書が、中学への進学準備として、上下に分けない合本となっている

○ 小学校国語の協議

- ・ 光村図書は、重要語句が絵や図でわかりやすく説明してある。難しい語句・文章にはQRコードがついていて、大変便利であるという報告があった。内容が充実していてなおかつ比較的軽量に作られているのは光村図書であるとの報告もあった。児童の学習に取り組む主体性や教科書の使いやすさを考えると光村図書がよいと思う。
- ・ 光村図書においては、情報の項目を設け、重要なポイントを端的にまとめていたり、表・マッピング等の思考ツールが活用できたりするように工夫されていることなど、よい点が多いと思う。
- ・ 光村図書においては、読みやすい書き下ろしの作品をどの学年でも採用し、児童の発達段階をよく考慮した内容となっている。学習活動に思考力を育成するための教材を系統的に配置しており、実生活や実社会と関連づけやすい。また、書く活動のために巻末に言葉の宝箱があり、語彙の獲得に有効な内容となっている。さらに、どの学年の課題も主体的・対話的で深い学びを意識した編集で、新学習指導要領の趣旨もしっかりと反映させている。これまでの意見も踏まえると、光村図書の教科書を選定する教科書として推薦したい。
- ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校書写の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、日本文教出版の5社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校書写の質疑

- ・ 言葉のもつよさを認識したり国語の大切さを自覚したりできるような題材や、伝統的な言語文化に親しめるような題材がどのように取り上げられていたか。
- 各社とも、文字や言葉に対する興味・関心を高める内容が取り上げられているが、子どもの発達段階に応じて、テーマを設定し、多様な言語文化や言葉に関心をもてるような工夫がしてあった。教育出版については、古典からの出典や短歌、俳句、カルタ、書き初めなど日本独自の言語文化を教材としたものが多く掲載されている。手紙・はがきの書き方についても各学年に応じた内容が取り上げられ、伝え合う活動が指導しやすい工夫があった。
 - ・ 文字を正しく整えて書くだけではなく、書写で身に付けた能力を学習や生活に役立てる態度を育てるような配慮はされていたか。

→ 各社とも、書写学習の基礎・基本をおさえて適切に書く力を養い、日常生活に活用できるよう配慮してあった。特に教育出版では、学習の進め方を簡潔に示すことで、主体的に学習する能力を高め

られるように工夫されていた。国語をはじめとした他教科や日常生活で活用できるように、ノートやメモの取り方、カードや様々な掲示物などを取り上げ、完成までの過程に写真を使用することで視覚的に理解しやすい構成になっていた。

- ・ 書写の教科書として、改善されていることや配慮されていることがあると思うが、どのように評価されたか。
- 各社とも、硬筆と毛筆を関連付けながら学習できるような配慮がしてあった。低学年には、新しい取組として、硬筆の運筆や筆圧を体感できるように水書用紙が取り入れられていた。また、文字を書くことに集中させたいので、紙面やイラストは、落ち着いた色調でまとめられたものが望ましいと考えた。児童が興味をもつような工夫は必要だが、本来の意図から外れないようにバランスよく編集されているものがよいと考える。

○ 小学校書写の協議

- ・ 教育出版の教科書は、何を学ぶかを明確にし、学習の進め方を提示することで、見通しを持って主体的に学習活動ができるように構成されている。また、課題解決に向けて話し合ったり、考えや思いを伝え合ったりする学習活動を通して、自らの力を高められるような工夫もされている。書き方指導に偏るのではなく、新学習指導要領の趣旨をしっかりと踏まえた教育出版の教科書が適していると思う。
- ・ 教育出版の教科書は、穏健・中正な手本文字が用いられ、朱墨や薄墨で表された手本は穂先の動きが分かりやすく、運筆や筆圧をイラストやオノマトペで示すなど正しい技能習得のための工夫がみられる。また、鉛筆・毛筆の持ち方や用具の扱い、筆使いについて写真や図版が多く示され、大切な学習内容を視覚的に確認できる工夫がされている。しっかりした技能の習得が期待できる教育出版の教科書がよいと思う。
- ・ 世の中は急速にペーパーレスやデジタル化が進んでいるが、そんな社会だからこそ、子どもたちには豊かな言語感覚を身に付けてほしいと願う。研究部長の報告にもあったが、教育出版の教科書については、古典からの出典や短歌、俳句、カルタ、書き初めなど日本独自の言語文化を教材としたものが多く掲載されている。これまでの意見もふまえ、教育出版の教科書を選定してはどうかと思う。
- ・ 協議の結果、全員一致で「教育出版」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校社会の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校社会の質疑

- ・ 教材として愛知県およびその周辺のことをどの程度取り上げられているか。
- 東京書籍は、5年生の工業で豊田市の自動車工場について、その他、名古屋市、三重県の四日市市

などを取り上げている。また、低い土地のくらしとして、岐阜県海津市の輪中にふれており、木曾三川に身近な児童達の関心を引きやすい。日本文教出版も5年生の工業で三重県鈴鹿市のホンダ工場、表紙には岐阜県海津市が掲載されている。各社とも愛知県およびその周辺に関する事柄を取り上げているが、東京書籍が最も多く掲載している。

- ・ 各教科書には、どのような構成の工夫があるか。
- 東京書籍の4年は、新学習指導要領における県の学習の分割を受けて、他2社の6単元構成に対して5単元構成になっている。単元ごとに課題をつかみ、調べ、まとめ、それをひろげたりつなげたりする構成はどの教科書も同様だが、東京書籍はそれを強く意識し見開きごとに明示している。教育出版は教科書全体としては意識されている。日本文教出版は、単元の大きなかたまりで構成としては意識されており、他社に比べてまとめや次へのつなげ方は学習者の裁量によるところが大きい。
- ・ 防災教育が重要視されているが、各社どのような取り上げ方がされているか。
- どの教科書においても、防災教育に関する内容を多く取り上げている。地震に限らず、水害や雪害など様々な災害を取り上げ、各学年で防災教育の視点を踏まえた学習が行えるような構成になっている。

○ 小学校社会の協議

- ・ 東京書籍は、問題解決的な学習を通して、よりよい社会づくりに参画・貢献しようとする意欲と態度を育てることができるような単元構成になっている。また、基礎的・基本的な知識・技能を系統的に習得し、自ら選択・判断した考えを他者に発信できるよう編集されている。新学習指導要領の主体的・対話的で深い学びの実現を図るのにふさわしい教科書と言える。
- ・ どの教科書会社も工夫はされているが、東京書籍は、社会に生きる人々の姿を取り上げ、今の子どもたちに必要な人生をたくましく切りひらき、自らの力を社会に生かそうとする意欲や態度を育むような工夫が充実している。また、防災・安全教育に関連した教材を全ての学年で取り上げ、自助・共助・公助等の自他の生命を尊重する意識が高められるよう配慮されていることも高く評価できる。
- ・ 社会科においては、自分事として、社会的な問題を捉え、それらに対して友達と対話をしながら、自分の考えをもつことが大切だと考える。特に東京書籍は、その社会的な問題として、愛知県やその周辺の事例が最も多いという報告もあり、また世界的な目標であるSDGsまで、多岐にわたる教材を発達段階に合わせて取り扱っている。また、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という流れで構成され、自分の考えをもち、それを表現するまで円滑に学習が進むように工夫されているのも東京書籍のよさであると思う。他の会社もそれぞれ良さはあるが、東京書籍を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校地図の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍と帝国書院の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校地図の質疑

- ・ 地図帳の使いやすさという点での違いは何か。

→ 帝国書院の地図は、明るく鮮やかでめりはりのある色合いで表現されているため、高低差や土地利用の様子、さらに県境・国境が分かりやすい。また、写真や資料も鮮明で、児童が読図をしたり資料を読み取ったりしやすいように工夫されている。東京書籍の地図は、等高断彩表現が詳細である。さらに全体的に色調が統一されている。

- ・ 3年生から使用することになったが、その点での違いはあるか。

→ 帝国書院の地図は、地図の使い方について、12ページにわたって、丁寧に地図帳の使い方を解説している。3年生の発達段階でも地図に親しむことができるよう、イラストを使っての解説を多用しているため、分かりやすく、使いやすいものになっている。東京書籍の地図は、2ページで地図の使い方の要点をまとめている。

- ・ 学習指導要領との関連において、編集にどのような違いがあるか。

→ 新しい学習指導要領において、深い学びのためには、社会的な見方・考え方が必要であると言われている。その見方・考え方の一つとして、位置や空間的な広がりに着目して、社会的な事象を捉えることに関して、帝国書院の地図は、色調が鮮明で美しく、立体感のある表現となっているため、高低差や地表・海底の地形の様子が捉えやすくなっている。等高線と土地利用表現が併用されており、人々のくらしの様子や産業が分かりやすいと考えられる。東京書籍の地図は、落ち着いた色合いで表現されており、色が濃く全体的に色調が似ている。

○ 小学校地図の協議

- ・ 帝国書院の地図帳は、学習内容に即した資料図や絵図が豊富に掲載され、作業的な学習や問題解決学習など、幅広く活用できる内容になっている。また、「日本をながめる地図」や、他の地域とのつながりが分かる「広く見わたす地図」が充実し、「都道府県を見る地図」「くわしく見る地図」と4段階で段階的に配列され、学習の深まる工夫がなされている。地図帳を使った学習の広がり、深まりを考えると、帝国書院の地図帳がよいと思う。

- ・ 帝国書院の地図帳は、土地の使われ方による色分けと土地の高さによる色分けを組み合わせた色彩表現で、高低差や地形の様子が捉えやすく、レイアウトの統一や色覚特性に配慮した色づかいなど、全ての子どもにとって使いやすいようになっている。QRコードが配置されているため、タブレット端末等で学習できるなど、子どもたちの興味を引く工夫がされている。帝国書院の地図帳がよいと思う。

- ・ 新学習指導要領では、地図帳や地球儀の活用が重視され、それらの指導の一層の充実が求められている。帝国書院の地図帳は、巻頭に地図帳の決まりについて分かりやすくまとめられており、子どもたちが地図帳に親しみやすいように工夫がされている。さらに、イラストなどが適宜配置され、地図に対する興味・関心が高められるように配慮されている。子どもたちが、自ら手に取るような工夫がされている帝国書院の地図帳を推薦する。

- ・ 協議の結果、全員一致で「帝国書院」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校算数の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校算数の質疑

- ・ 学習指導要領の算数科の目標に、「数学的な見方・考え方を働かせ」とあるが、これはどのようなことか。教科書には、どのように反映されているか。

→ 子どもたちは、各教科の学びの中で、習得した知識を活用したり、身に付けた思考力を発揮したりしながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、課題を見いだして解決策を考えたりする。その過程で、物事を捉える視点や考え方が鍛えられていく。これが「見方・考え方」です。大人になってからも重要な働きをする。算数科における「見方・考え方」が『数学的な見方・考え方』で、それを働かせるとは、算数の授業で習得した知識や身に付けた思考力を活用し、課題を見いだしたり解決したりすることである。今回の検定教科書では、基礎的・基本的な知識・技能が定着するような編集や話し合いなどを積極的に取り入れ、数学的な思考力・判断力・表現力が身に付くような編集がされている。

- ・ 教科書選定の観点・着眼点の中に、「あいちの教育ビジョン2020に掲げられた『あいちの教育の基本理念』に資する特色が見られるか」とあるが、算数の教科書ではどういったことか。

→ あいちの教育の基本理念では、「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現とある。「自らを高めること」「社会に役立つこと」として、「基礎的・基本的な知識及び技能」が着実に習得されるよう、系統的な反復学習や、練習問題などによる繰り返し学習ができる教科書になっている。さらには、それらの学習と社会をつなぐために、見方や考え方を身に付けられるよう、様々なレベルの問題が豊富に用意されていたり、既習事項やまとめの問題が随所に配置されていたり、生活や社会に役立つような記事が掲載されていたりと、各社の教科書に今まで以上の工夫や充実が見られる。特に啓林館では、日常の事象や既習事項とのつながりから単元を導入し、児童の興味・関心を喚起することで、主体的に学習するよう、さらには自らを高められるよう工夫されている。

- ・ 今回の検定教科書で、今までとは大きく違う点は何があるか。

→ 基本的に、学習指導要領の改訂の趣旨に基づいて編集されている。全社の教科書を研究していて感じたのは、統計的な内容が充実している点、プログラミング的思考が取り入れられている点、スタートカリキュラムの充実、社会への活用が実感できる点である。これらの点において、それぞれの検定教科書で、編集に工夫がみられた。

○ 小学校算数の協議

- ・ 算数では、単に操作活動とするのではなく、児童が目的意識を持って学習に取り組めるようにすることが、学習意欲の向上につながると考える。啓林館の教科書では、日常生活から問題を見いだすなどの数学的活動が積極的に取り入れられている特徴が見られる。啓林館の教科書がよいのではな

いか。

- ・ 各社いろいろな工夫がされていて素晴らしいと感じる。啓林館の教科書は、文節の切れ目に注意し、発達段階に応じて、読みやすく見やすく配慮されている。巻末ページはよく分かるようにカラーを使って子どもたちの学習の助けになっている。また、「二次元コード」によって、学年間での既習内容の振り返り、学習を豊かにするような動画や補充問題が提示されている。児童の学びやすさに対するきめ細かな工夫が見られて大変よいと思う。
- ・ 各社、単元構成や紙面の見やすさを工夫することで、学習しやすくなっている。特に啓林館の教科書は、生活体験を重視し、身近な素材で解決の必要感がもてる内容が選択されているだけでなく、課題解決に必要な考え方を複数示し、考え方を選択できるように構成されている。これらのような内容の特徴を踏まえ、啓林館の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「啓林館」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校理科の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校理科の質疑

- ・ 観察・実験の記録の整理について、各社どのような工夫があったか？
 - どの教科書も、実験・観察の記録のまとめ方が見本で示してある。どれもポイントを押さえて記録が整理されているが、文字が小さいものもある。
- ・ 学習指導要領が改訂されたという観点で、5社の見本本を比較しての違いはあるか？
 - 今回扱った5社の教科書については、文部科学省の検定を合格している物ばかりであり、いずれも新学習指導要領の主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。各教科書とも、単元導入で児童の興味・関心を高める資料を用い、対話ができる展開にして、単元末では理科の見方・考え方を確認し、活用できるように構成されている。東京書籍では、単元導入での簡易的な体験や資料性の高い写真によって、問題意識が高められる。3年生の昆虫の単元では、モンシロチョウがキャベツのまわりを飛んでいる理由をしっかりと押さえてから単元に入っているので流れがつかみやすく、「理科の見方、考え方」を働かせながら「深い学び」が実現するように工夫されている。
- ・ 児童が使いやすく読みやすい教科書という観点で、5社の見本本にどのような工夫があったか？
 - 5社の教科書については、いずれも「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。」といった学習指導要領の教科の目標を十分に踏まえた構成となっている。軽い紙を使用するなど児童の負担軽減も図られており、写真やイラストが大変美しく、印刷が鮮明で字体や色使いなどユニバーサルデザインにも配慮されていて大変分かりやすく

なっているものもある。

○ 小学校理科の協議

- ・ 東京書籍においては、自然愛護や生命尊重、環境保全に対する態度を大切にし、身近な素材を取り上げ、児童の疑問を基に主体的に学習に取り組める内容が選択されている。また、自然の事象に触れて自ら問題を見いだしたり、単元の導入時に効果的な写真を活用したりすることからも児童の主体性を大切にしようとする意図が感じられる。これらのことから、学習指導要領の趣旨をよくくみ取っている東京書籍がよいと思う。
- ・ どの会社も児童の興味関心を高める工夫がされている。大日本図書の巻末の広げる部分では、例えば3年生のおもちゃを作ろうという題材があるが、児童の興味関心を高める題材であり、理科好きな子どもたちが増えるであろうと考える。一方で科学的な思考という点では、東京書籍は、児童の思考に沿って学習が展開できるように構成されており、見通しをもって問題を解決していくことができるように配慮されている。全ての会社の教科書にデジタルコンテンツが含まれているが、東京書籍のデジタルコンテンツは深い学びにつながるものであると実感した。総合的に考えると東京書籍の教科書が子どもたちに適していると思う。
- ・ 理科の学習指導においては、自然の事物・現象とのかかわり、科学的なかわり、生活とのかかわりを重視することにより、問題解決の能力や自然を愛する心情を育て、実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を身につけることができるようにすることが大切である。東京書籍の教科書では、児童が自然の事物・現象に触れて自ら問題を見いだす場面を設け、見方・考え方を具体的に示すことで、理科の見方・考え方を働かせながら問題解決の活動を行い、深い学びの実現できるように編集されている。これまでの意見も踏まえて、東京書籍の教科書にしてはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校生活の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、日本文教出版の7社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校生活の質疑

- ・ 東京書籍について、生活科で目指す学びの姿そのものを教科書から見取ることができると報告があったが、具体的には、どのようなことか。
- どの会社も工夫していたが、対話する二人の写真やグループでの話合いのイラスト、吹き出しの言葉の中などに、学習活動の進め方や考えたり観察したりするときの視点、ヒントが掲載されている。また、発表の方法についても記録カードをパネルに張り付けたり、実物投影機を使ったり、ポスターセッションの形にしたり、さらには机やいすの並べ方を変えたりするなど単元により変化をもたせ、多様な方法をイラストで分かりやすく示されている。
- ・ 生活科で目指す資質・能力は、相互に関係しながら育成されていくものだと思うが、各社がその点

について、どう工夫して編集しているのか教えてほしい。

→ 各社、「ホップ、ステップ、ジャンプ」、「わくわく、いきいき、ぐんぐん」など導入、追究、表現・振り返り等、学習に深まりや発展をもたせながら構成されている。その学習の流れの中で、生活上必要な習慣や技能を身に付けたり、自ら働きかけ意欲的に学ぶ姿勢や生活を豊かにしようとする態度が養われるよう、言葉の使い方やマナー、道具を使うときの気を付けること、考えるヒントを、どの会社もそのページの定位置に分かりやすく掲載している。また、どの教科書会社も巻末には、さらに詳しい資料や調べ学習に活用できる図鑑などを「学びかたずかん」、「ちえとわざのたからばこ」「ほけつとずかん」などとしてまとめており、一冊で網羅できるようになっている。

・ 東京書籍は、他より大判になっているが、問題はないか。

→ 話題になった。学習過程、学びの姿、子どもの関心を惹きつけるイラストなど、実寸大の図鑑などかなり興味をひくものとなっている。実際に子どもの机の上に広げてみたが、問題はない。

○ 小学校生活の協議

・ 大日本図書の表紙は、立体的で子どもの興味を引き付けるものである。東京書籍は、各ページに育成すべき三つの資質・能力を吹き出しとイラストによる子どもの姿で見やすくしている。また、調べる、考える、話し合う、表現するなどの学びの姿や目指すゴールがわかりやすくなっている。さらには、季節の流れで配置されていて、学習が進めやすい。子どもも教師も見通しをもって取り組めるよう編集された東京書籍がよいと思う。

・ 生活科は1、2年生が取り組む教科なので、子どもたちの好奇心をかきたてるものがよいと考える。東京書籍の教科書は、実物大のイラストや詳しい挿絵、俯瞰図、図鑑的な資料や写真など、豊富な資料が掲載されている。自然の素晴らしさ、美しさ、不思議を感じることでできる大変興味深い写真や具体的な活動例のイラストが多く取り入れられている。各社よいところはあるが、子どもたちの興味関心にダイレクトに働きかける東京書籍の教科書がよいと思う。

・ 子どもたちの関心・意欲に最大限に寄り添いながら、具体的な活動を積み重ねて学びをつくっていくのが生活科である。東京書籍の教科書は、児童が自分の思いや願いを実現するための学びのプロセスを紙面の定位置に具体的な児童の姿で掲載している。そして、身近な人々との関わりや学校・通学路・公園・地域など多くの例が示され、人や社会、自然に関心をもたせ、自分との関わりを考えたり、地域への愛着を深めたりする内容となっている。子どもたちの思いや願いを大切にし、質の高い気付きや活動の深まりが期待できるので、東京書籍に選定してはどうか。

・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校音楽の報告

・ 見本本の送付のあった教育出版社、教育芸術社の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校音楽の質疑

・ 新学習指導要領の「音楽的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的な学び」を引き出すための工

夫はされているか。

- 両社とも新学習指導要領の趣旨を生かしたさまざまな工夫がされている。児童が自ら進んで、音楽的な見方・考え方を働かせながら主体的・協働的に学ぶことができるように配慮されている。教育芸術社、教育出版社ともに、学習のめあてや共通事項、学び方を明示する工夫が見られるが、教育出版社は、共通事項に示された「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として各ページや巻末に分かりやすく示したり、「まなびナビ」のコーナーで学びのプロセスを示したりしている。
 - ・ 技能の差がつきやすい器楽の指導について、どのような工夫がなされているか。
- 両社とも、イラストや写真を使い、具体的なアドバイスを掲載し、児童が楽しく器楽の練習をすることができるように工夫されている。鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入時には細やかなステップで練習を進められるよう工夫され、新出音も緩やかに段階を追って扱い、息の使い方のアドバイスも的確である。また、巻末の折込にリコーダーの運指図が配置され、どのページを学習していても開いて確認できるように工夫されている。
 - ・ 具体的にどのようなユニバーサルデザインの配慮がされているか。
- 両社とも、特別支援教育の専門家の監修を受け、全ての児童にとって学びやすい紙面となるよう工夫されている。教育出版社は、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを取り入れ、学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、判読しやすい配色やレイアウトが施されたりしている。教育芸術社は、全体的に優しい色づかいで構成されているながら、重要事項は明瞭な文字の太さやレイアウトとなっており、必要な情報に注目できるよう工夫されている。

○ 小学校音楽の協議

- ・ 両社とも、写真などの資料やWEBコンテンツが用意され、児童の興味・関心を高める工夫がなされている。特に、教育出版社は、歌詞の内容を忠実に表現した迫力のある写真や透明シートが効果的で、WEBコンテンツの内容も、動画・音源・解説資料など大変充実している。児童の音楽に対する興味関心をより高めることが期待できる教育出版社がよいと思う。
- ・ 美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心を養うために、鑑賞教材は大きな役割を果たすと考える。両社とも、題材のねらいに即した選曲がなされ、表現や音楽づくりとの関連を図った活動によって、音楽の見方・考え方を育むように配慮されている。特に教育出版社は、身体性を取り入れた学習活動により、主体的な鑑賞学習を促し、実感をもって音楽を聴きとることができるような工夫が見られる。鑑賞教材の観点から考えると、教育出版社の方が優れていると思う。
- ・ 子どもたちが人生を豊かにするために、音楽の果たす役割は大きい。子どもたちが、音楽活動を進めるにあたり、楽しく音楽に関わり、音楽に感動するような体験を積み重ねてほしいと願っている。その一助を教科書は担っているが、両社の教科書ともに、子どもたちが意欲的に音楽活動に取り組める工夫が凝らされている。特に、教育出版は、身体的・体験的な活動を取り入れ、児童の興味・関心を高めるとともに、実感をもって学習を積み重ねることができるよう配慮されている。さらに、児童の発達段階に応じて具体的な活動が豊富に示され、表現・鑑賞・音楽づくりの関連を図りながら丁寧にステップアップしていくよう教材が配置されている。両社良い点があるが、これまでの意

見も踏まえて教育出版の教科書を選定してはどうか。

- ・ 協議の結果、全員一致で「教育出版」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校図工の報告

- ・ 見本本の送付のあった開隆堂出版、日本文教出版の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校図工の質疑

- ・ 表記・表現及び使用上の便宜等で工夫されていることは何か。

→ 2社ともに、学習のめあて、育成する3つの資質・能力が指導者・児童で共有できるように明確に分かりやすく示されている。道具や材料の準備だけではなく、安全上気をつけることや片付けについても示されていて使いやすさを感じる。

- ・ 子どもたちが、表現活動に意欲的に取り組むための工夫は見られたか。

→ 2社ともに工夫されていることは主に3つある。まず1つ目は学習のめあてが指導者向けと児童向けに文章で明確に示され、さらに育成する3つの資質と能力を指導者と児童が共有できるように分かりやすく示されているという点である。そのため、授業の中で指導者が何を指導し、何を評価するか、児童は何を、どうすればよいか明確にすることができる。2つ目は児童作品例が多く写真や図版で示されているという点である。そのため、児童が多様な発想を生み出す参考になる。3つ目は、子どもの写真が多く掲載され、吹き出しで個々の思いや考えが子どもの声として示されている点である。そのため、表現の意図や考えを理解しやすく、児童の自分もやってみたいという思いを引き出しやすい。作品の内容について文章や児童の言葉が吹き出しでより多く掲載されており、表現の意図を理解しやすくなるように工夫されている。

- ・ 作品鑑賞をする際に、各社で工夫されていることは何か。

→ 日本文教出版は、折り込みページに大きく作品が掲載されており、児童の興味を引くように工夫されている。他にも、光を扱う教材の作品について、紙面の背景を暗くして光の感じがよく分かるようにレイアウトされているなど、作品の良さがより引き立つように工夫されている。また、作家の作品を気づかせたい視点を明記し、鑑賞することの楽しさや奥深さを考えさせるように促したり導いたりする構成となっている。開隆堂出版は、児童の作品一つ一つと展示の様子が掲載されており、完成した作品の展示のイメージをしやす工夫がされている。作家の作品については、同じテーマで制作された作品を集め、その違いに気付かせる構成がされている。さらに、新しいアプローチで作品に迫らせる工夫がされている。

○ 小学校図工の協議

- ・ 開隆堂出版は、学習のめあて、学習目標が明記されていることが大変よい。基礎基本の習得という観点から見ると、日本文教出版は、「材料と用具」として図版や説明で分かりやすく示されている。主な用具や材料がマークで示され、留意点を「きをつけよう」「かたづけ」として明記されている。子どもたちの意欲や発想を支える基礎的基本的な知識がしっかり習得できると考えるため、日本文

教出版の教科書がよいと思う。

- ・ 図画工作科の学習で大切なことは、感じ、思い、考えたことを表現することだと考える。日本文教出版の教科書は、活動する児童の様子だけでなく、作品を制作した児童の表情や言葉も掲載され、知識や技能だけでなく、造形活動の根底である思いを大切にしようという意図が感じられる。このことから、日本文教出版の教科書がよいと思う。
- ・ 開隆堂出版は新しい試みで工夫をされていて大変良い。日本文教出版は、子どもたちが、表現する楽しさや喜びを感じ、主体的に造形に関する「深い学び」に向かうことができるよう、基礎・基本から発展的内容まで丁寧に示されている。また、表現の意図や考えを理解しやすくすることで、子どもたちの創作意欲を喚起する工夫も多くみられる。これまでの意見も踏まえ、日本文教出版の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「日本文教出版」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校家庭科の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、開隆堂の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校家庭科の質疑

- ・ 国籍の異なる児童や学習面で難しさをもつ児童など、個別の配慮が必要な児童が年々増えており、家庭の形態も多様化している。このような社会の変化に対応し、支援の必要な児童に対してどのような工夫や配慮がされているか。
- 外国の人との交流や障害をもつ人との共生、性別にとらわれることなく家族の一員として協力することの大切さを伝える工夫がされている。構成的には、どの題材においても、3ステップの流れで進めることで、学習の見通しがもてるように工夫されている。また、ユニバーサルデザインの視点に立って配色や字体、レイアウトなども工夫されている。東京書籍は、実寸大の写真に手をのせてシミュレーションを行うこともでき、左利きの児童にも対応している。一人分の材料が写真で示されていたり、野菜の切り方や大きさの目安が実寸写真で示されていたりと、初めて体験する児童にも分かりやすいよう配慮されている。開隆堂では、野菜の主な切り方の例や皮のむき方が裏表紙に写真で示されており、関連する題材は同じレイアウトで構成するなど、確認や比較がしやすいように配慮されている。
- ・ 家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てるために、2社それぞれどのような工夫と配慮がされているか。
- 2社ともに基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるような実習例や資料を掲載している。開隆堂は、家庭生活に関する題材では、家族や家庭の大切さを、消費生活に関する題材では、働いて収入を得ることに関して記述し、家庭実践に結びつくように工夫している。また、長期の休みに児童が課題を決めて家庭実践ができるよう「チャレンジコーナー」や「レッツトライ、生活の課題と実践」のページを設けている。東京書籍は、家族や家庭生活は、児童の基盤となるという考えか

ら、すべての大題材で家族や家庭生活と結び付くように配慮し、知識や技能を生活の中で生かす視点を入れたり、家族のための実践を示唆する内容を示したりしている。「生活を変えるチャンス」のコーナーには、豊富な実践例が示されている。

- ・ 東京書籍はA4判になっているが、少し大きく感じたが、これまでより使いやすくなったと思われる点があったら教えていただきたい。
- コラム「プロに聞く」や「日本の伝統」など、各題材において豊富な資料と児童に分かりやすい実寸大の写真が随所に掲載されている。また、学習を案内するキャラクターが、現代的で親しみやすいタッチのイラストになった。A4判を用いることで、情報量を充実させて資料性と視覚的効果を高め、学習の流れが把握しやすい紙面になっている。軽量の専用用紙を使用することで、児童の負担軽減にも努めている。

○ 小学校家庭科の協議

- ・ 家庭科では、身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用できるよう、家庭や地域との連携を図ることが大切であると考え。どちらの会社も配慮は見られるが、特に東京書籍は、「生活を変えるチャンス！」を5カ所に設定し、学んだことを生かし、家庭や地域でも生活をよりよくするために実践しようという意欲を高める構成になっている。実践的な力の育成の観点から、東京書籍が適していると考え。
- ・ 両者ともに様々な観点で工夫がされている。東京書籍は、全ての題材において、生活への関心や知的好奇心を高め、主体的・対話的な学習が進められるような内容が選ばれている。さらに、児童の発達段階に配慮し、日常の生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げ、児童の思いや願い、多様な個性に応じた活動ができるよう実践例が豊富に掲載されている。東京書籍がよいと思う。
- ・ 家庭科においては、調理や製作等の手順の根拠について考えたり、実際に体験する喜びを味わったりすることが大切である。東京書籍の教科書は、実寸大の写真を活用するなど、実生活とのつながりを多く掲載し、さらに、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が育成されるよう配慮されている。調理実習や製作実習の手順が見開きページを効果的に活用するとともに、軽量の専用用紙にすることで負担軽減も忘れていない。細かなところまで配慮されている東京書籍に選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校保健の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学研の5社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校保健の質疑

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、新しい教科書で工夫されていることは何か。
- どの教科書も、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を設定し

ている。教科書にワークシートの機能を付加し、教科書に直接文字を書き込めるようにしている。教科書の構成にそって授業を行えば、課題解決するように工夫されている。授業で学んだことをさらに深めたり、活用したりできるような主体的な学習ができる工夫もされている。児童それぞれの考えを話し合わせるように構成されていたり、対話的な過程が設けてあったりするものもある。また、教科書の使い方のページでは、「話し合いの進め方」「発表のしかた」など対話的な学習の進め方についての解説がある。

- ・ 教師にとって、どのような教科書が使いやすいのか。
- 学習内容に興味関心がもてるように、授業の導入段階が工夫されているものがよい。資料や記事などの情報が過多でないものがよい。1時間の授業でこなしきれないほどの文章や情報があるものは避けたい。教科書に学習過程がしっかり設定されてしまうと、経験の浅い教師には一定の効果があるが、そうでない場合はかえって使いにくい物になる。教師の主体性が生きる教科書がよいと考える。資料が精選され、使いやすさの観点から自由度の高いとよい。
- ・ ADHDや広汎性発達障害などの特別な支援が必要な児童への配慮はされているのか。
- 文章の改行を工夫し文章を読み取りやすくしたり、独自に開発した書体を使用したりしている。教科書に使われているマークを統一してどの単元も同じように学習を進めていけるようにしてある。色覚の多様化に配慮したカラーユニバーサルデザインにより配色やデザインが検証されている。また、性別、国籍、障がい者、高齢者など多様な人々がイラストで表現されている。

○ 小学校保健の協議

- ・ どの教科書も学習指導要の趣旨に沿った編集がされており、イラストや資料も充実している。大日本図書の教科書は、学習を進めるにあつたての情報量が多すぎず、見開き2ページで1時間の学習内容がまとめられているなど、児童にとって使いやすい教科書となっている。専門家キャラクターのコメントをもとに、段階的に学習の理解が深まるように構成されていることも、使いやすさの観点から評価できるため、大日本図書の教科書が適していると思う。
- ・ 大日本図書の教科書は、現代的な諸課題に対応した資料やデジタルコンテンツが豊富にあり、児童が意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また、単元の導入で学習ゲームを取り入れたたり、イラストや写真が効果的に使われたりして、視覚的にも分かりやすくなっている。子どもたちの興味関心を高める工夫が随所にみられるため、大日本図書の教科書がよいと思う。
- ・ 保健の学習においては、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断することが求められる。大日本図書の教科書は、身近な生活風景のイラストから課題を発見させ、その解決に向け、友達と話し合ったりするなどの活動により思考を広げ、深い学びが実現できるよう工夫がされている。また、「はなし合ってみよう」の課題提示が効果的であり、児童が主体的に課題解決できる資料が選ばれている。知識、技能の習得のみを重視することなく、子どもたちが考えたり話し合ったりすることを通して、健康や安全の大切さを実感できるよう編集されている、大日本図書の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「大日本図書」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校外国語の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の7社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校外国語の質疑

- ・ 小学校英語ではイラストやカード等、付属資料が学習に役立つと考えられるが、各教科書ではどのような工夫がなされているか。
- 各教科書ともイラストや写真は豊富にそして効果的に使用されている。また、切り取って使えるようなカード等もあり工夫が見られる。東京書籍は5・6年生2年間使用できるピクチャーディクショナリーというものが別冊で用意されている。ピクチャーディクショナリーは単語がジャンル別に分類され、基本表現も含まれている。それを使ってコミュニケーション活動を行うことは非常に効果的であるとする。中学校でも十分活用できる。
- ・ 初めての小学校外国語の教科書ということで、各社が工夫していることはあるか。
- 各社とも音声教材を用意している。また、数社の教科書にはQRコードが設定されている。QRコードを読み取ると動画を見ることができ、復習など家庭学習に役立てることができる。もちろん保護者も見ることができるので、児童がどんなことを学習しているか知ることができる。・ 聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎を養う点について各教科書はどう配慮しているか。
- どの教科書も4技能の言語活動が適切に設定され、積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力を養うよう配慮されている。聞く・話す活動を重視しているものも見られる。

○ 小学校外国語の協議

- ・ 小学校外国語は、基本的に学級担任が授業を行うことになっている。移行期間があったとはいえ、学級担任が教材を準備したり教材研究をしたりすることは、まだまだハードルが高いと言える。こうした状況を踏まえると、光村図書、啓林館、東京書籍等、資料やワークシートが充実しており、授業者の負担を軽減する配慮がされている。その中で、東京書籍のピクチャーディクショナリーやQRコードは授業者に大変役立つと考える。これらの観点から考えると、東京書籍の教科書がよいと思う。
- ・ どの教科書も大変良い編集がされている。外国語科では、コミュニケーション能力だけでなく、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることが大切であるとする。東京書籍の教科書は、日本文化、世界の国々、環境問題、スポーツなど多岐にわたった内容が扱われ、児童の視野を広げるよう配慮がなされている。また自国の文化の良さに気づかせ、それを発信する力も養おうとしており、国際協調の精神を養うことができると考えることから、東京書籍の教科書が適していると思う。
- ・ 小学校外国語は、中学校の外国語を単に前倒しているものではない。小学校外国語では、身近な話題をもとに、聞く話す活動を十分に行った上で、読む書くの活動を行い、4技能を高めていくことが大切である。どの会社も、十分配慮はされているが、特に東京書籍は、十分な音のインプットの

後に読む書くの言語活動が設定されている。また、各ユニットが「音に出会う」「会話に慣れる」「コミュニケーションを楽しむ」「世界を広げる」の構成となっており、「聞く・読む・話す・書く」の4技能が段階的に育成できる流れになっている。4技能を段階的、一体的に指導できる東京書籍に選定してはどうか。

- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 小学校道德の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの8社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 小学校外道德の質疑

- ・ 2年ぶりの教科書採択で各社とも様々な面で改善されたと思うが、具体的に教えてほしい。
- 各社、2年前より改良・改善に努めていることが伺えた。例えば、教材の文章が長かったものを削ったり、内容を4期のまとまりに分けていたものを、学期に合わせて3期のまとまりにしたりして、より使いやすく改良されていた。また、全学年35時間、小1は34時間の授業を網羅できるように、教材数の調整がされていた。教材を入れ替えたり、掲載する写真や絵を替えたりするなど、各社ともに2年前より読みやすく、見やすい紙面になるような工夫があった。
- ・ 「考える道德」、「議論する道德」において、一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合うことが大切であると思うが、児童が心の揺れや人間関係を深くとらえることができるような工夫はあったか。
- 各社、指導要領の趣旨をふまえた教材が選択され、多様な学びができるような工夫がされている。特に、光村図書出版は、道徳的な判断力を育てる問題解決的な学習教材と考えを深める体験的な学習教材が設定しており、児童が主体的に考えられるよう工夫されている。また、いじめや情報モラル等の今日的な課題を系統立てて学べるようになっている。
- ・ 「いじめ問題」への対応も大切な観点の一つである。いじめ問題の取扱について特徴的なことを教えてほしい。
- 各社「いじめ」に特化した内容を重視しており、人との関わり方や集団との関わり方について深く考えさせる内容を多く取り入れている。深く考えさせる際に、役割演技をさせる場面を取り入れたたり、葛藤場面について考えさせたりしながら、よりよい考えや行動について主体的に考えられるよう工夫されている。また、各社ともにいじめの要因の一つにもなっている情報モラルについて掲載している。具体的には、情報モラルのコーナーを設けてスマートフォンやインターネットの使い方や危険性を紹介したり、主人公がいじめや問題に巻き込まれる題材を取り入れたたりして、現代的な課題に向き合う内容となっている。

○ 小学校道德の協議

- ・ 光村図書においては、現代的な課題である、いじめや情報モラルについて、いじめや情報モラルに

関する教材とコラムを組み合わせて扱うユニットを設定し、系統立てて学べるよう編集されている。また、学校生活における問題の解決策を考えて伝えるなど、子どもたちの日常や学校生活の実態に沿った内容が選択されているため、光村図書の教科書がよいと思う。

- ・ 8つの会社の様々な特徴があり、それぞれの良さがあると感じた。光村図書は、学年で特に身に付けてほしい道徳性を重点項目として設定し、自分のこととして考えやすい教材を取り上げている。また、心に刻まれる、引き込まれる教材が多く、児童が深く考えることができるような資料が掲載されている。さらには、教材が多様な形式で掲載されており、児童の関心・意欲を高め、主体的に考えられるよう工夫されている。教材のすばらしさから、光村図書が適していると思う。
- ・ 考え、議論する道徳では、子どもが自己の生き方を見つめながら、多様な視点から話し合い、対話を通して自己のよりよい価値、生き方を考える学習であると考えている。各社、内容、構成、教材などの見直しが図られている。光村図書の教科書は、教材とコラムを組み合わせたユニットを設け、物事を多面的・多角的に考えることができるよう考慮されていたり、各学年の巻末に、人のよりよい関係を築くためのこつが示され、人と関わるよさを体験できるよう工夫されていたりするなど、随所に考え、議論する道徳に関する工夫が見られる。これまでの意見も踏まえ、光村図書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」のものを選定する教科書として決定。

5 連絡、依頼事項

- 採択協議会事務局のローテーションについて
- 資料の取り扱いなどに関する連絡

6 閉会

- 閉会宣言